

# わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128  
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>  
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4  
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

## 会長就任のご挨拶 みなさまとともに活気のある楽しい地域づくりを目指します。



檜枝光太郎会長

荻窪地域区民センター協議会は、地域のみなさまと楽しくコミュニケーションを図るための「おぎくぼセンター祭」などのイベント、地域課題解決に向けた防災・減災への取り組みなど、また多様な講座・講演会を開催しています。これらのイベントや講座・講演会を楽しんでもらいつつ、地域のみなさんの仲間づくりのきっかけに役立てばと思います。また、小学校・中学校や町会、商店会などの地域で活動している多くの団体と協働してイベントなどを開催し、団体や個人をつなぐコーディネーターの役割も果たしていきたいと思っています。以上の協議会活動によって、活気ある楽しい地域づくりに貢献したいと思います。

協議会は地域のお役に立ちたいとの思いをもった人たちの集まりです。この思いを実現するためには、地域のみなさまのご支援が必要不可欠です。どうぞよろしくお願いいたします。



定期総会(5月)



さいえんす縁日(5月)



おぎくぼセンター祭(6月)



講談鑑賞会(8月)



アート展(2月)



## 2019年度の 主な行事・イベントなど

★写真掲載のもの以外にも様々な企画を予定しています。  
★開催月は変更する場合があります。写真は2018年度事例



本天沼集会所まつり(10月)



荻窪寄席(12月)



地域懇談会(12月)



地域ふれあいコンサート(11月)



井の頭池野外講座(11月)

### 「われからのイベント・講座」

#### 4月

●3月13日～5月6日(日) ロビー展示

「荻窪の記憶Ⅱ 天沼100年の歴史」

●5日・12日・19日・26日(金)

「楽しいラジオ体操」

●11日(土) 杉並区民と語る平成史

#### 5月

●10日(金)

「荻窪地域区民センター協議会総会」

●18日・25日・6月1日(土)

「ロシア文学と『武蔵野』」

―葉亭、独歩、蘆花―

●26日(日)「さいえんす縁日」

●28日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」

6月・7月号発行

#### 6月

●5日・12日・19日・26日(火)

「リズム&ストレッチ教室」

●8日(土)

「初夏のハンギングプランター作り」

●22日(土)・23日(日)「おぎくぼセンター祭」

#### 7月

●16日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」

8月・9月号発行

#### 8月

●2日・9日・16日・23日(金)

「ハーモニカを楽しむウオイストレーニング」

●24日(土)「講談鑑賞会」

※イベント・講座等は変更になることもあります。  
※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先：●事業企画部 ●地域交流部

●CC部 ●広報部 ●総務部

## この街にこの人あり

もっと、たくさんの人に楽しんでほしい。  
もっともっと、すぎなみを好きになりたい。

子ども向けの各種イベントに参加し、タイルモザイクなどのワークショップを行なっています。「すぎなみの子どもたちにアートを楽しんでほしい」と、地域活動をしている河原拓巳(かわはらたくみ)さんにお話を伺いました。



ガラス造形・タイルモザイク  
河原拓巳さん

### モザイクアートとの出会い

大学では油絵を専攻していましたが、この選択が良かったのかどうかと、悩んでいました。そんなときに、“大理石のモザイク制作”の授業を受けて、「僕がやりたかったのはこれだ!」と、その日からタイルモザイクの世界に引き込まれてしまいました。

また、大学卒業後に就職したガラス会社でガラス造形に興味を持ち、仕事の傍らで、アート活動を続けてきました。



ガラス造形の代表作品

転機となったのは、4年前の杉並区役所・区民ギャラリーでのガラス作品の個展で、予想以上の反響があったことをきっかけに、地域での活動を始めました。

### 現在の地域活動の内容

昨年は、子どもや親子を対象としたイベントでタイルモザイクのワークショップを10回、ガラス作品の展示会を4回程行いました。

ワークショップに参加した子どもたちの笑顔に接するのは、まさに至福のひとつです。主催者から「河原さん、来年もお願いします」と言われると、とても元気が出ます。

この活動を始めてから、特別の感情を持ち合わせていなかった“すぎなみ”が好きになり、“すぎなみ”のために、

“すぎなみの人”のために、頑張ろうという気持ちが生まれ、どんどん膨らんできました。

また、イベントに参加するアーティスト仲間との交流も広がり、さらに深まっていき、活動をするうえでの大きな楽しみです。



タイルモザイクのワークショップ(「すぎなみ 子ども・子育てメッセ 2019」)とタイルモザイク作品

### これからやりたいこと

「今後は、杉並区で区民のための目的(子供、子育て、まちづくり、福祉、高齢者など)を持った活動団体でのイベントで、アートを通じて少しでも力になれば、杉並区で活動しているアーティスト仲間と一緒に楽しく盛り上げたい」と、これからの活動にたいへん意欲的です。

Takumi Glass工房  
Instagram  
フェイスブック

web: [www.takumi-glass.com/](http://www.takumi-glass.com/)  
<https://www.instagram.com/kawahara1973takumi>  
<https://facebook.com/takumiglass>

### イベント紹介

## 科学を楽しもう! 「さいえんす縁日」

「さいえんす」を楽しもう! 気が向いたときに立ち寄って、目についた出し物を楽しむ「縁日」です。科学の知識も身につきます。

「ホバークラフト試乗」「紙ひこうき大会」「バルーン電話で遊ぼう」「お魚浮沈子をつくろう」「マヨネーズをつくろう」などの体験ができます。

★日時:5月26日(日)午後1時~4時

※参加費は、体験参加をする方1名につき、1日・100円です。

※申込みは不要です。直接、荻窪地域区民センターにお越しください。

(協力団体)サイエンスホッパーズ、だがしや楽校サイエンスくらぶ



ホバークラフト体験(昨年)

「荻外荘通り」の愛称が決まったばかりですが、その道の北端に近いところで異彩を放っている建物があります。国の有形文化財にも登録されている「西郊ロッジング」です。洋風下宿として開業したのは昭和5年のことですが、「江戸川乱歩の小説に出て来そうな雰囲気がある」と言う人もいます。昭和13年に竣工した当時の西郊ロッジング新館の建物で、印象的なのは昭和13年に完成した新館のドーム型の屋根。いったい、この丸屋根は何をイメージしてデザインされたのでしょうか。灯台？ それともモスク？



昭和13年に竣工した当時の西郊ロッジング新館

答えは、配水塔です。しかも、モデルとなった塔が現存します。中野区にある荒玉水道の野方配水塔です。荒玉水道は、関東大震災後、東京市に隣接した町村の急激な都市化による水の需要に応じるため、砧から多摩

川の水を引いて、当時の豊多摩、北豊島、両郡の13の町村に供給する目的で建設されました。設計は、ドイツで衛生工学を学び、淀橋浄水場をつくった「近代水道の父」中島鋭治博士(1858～1925)。

昭和4年に完成した配水塔は、昭和41年に本来の役割を終え、以後、災害用貯水槽として使われ、平成22年に国登録有形文化財になりました。「ドーム型の屋根が、地域の特徴ある景観をかたちづくり、江古田の水道タンク、みずの塔、貯水塔などと親しまれてきた、東京近郊都市化のシンボルです」と、中野区の案内板にあります。



旧野方配水塔(中野区江古田)

西郊ロッジングの塔のデザインは、現在のご主人・平間美民さんの祖父・美喜松さんが技術者として野方の配水塔の建設にかかわったことから生まれました。荻窪が「西郊」つまり「東京の西の郊外」だった時代に建てられた「西郊ロッジング」。文字通り「東京近郊都市化のシンボル」と言えそうです。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

イベント報告

野外講座「井の頭池で冬の渡り鳥を観察しよう」

2月16日(土)に井の頭自然文化園で実施した野外講座の第2弾、「冬の渡り鳥を観察しよう」には12組の親子ら、22人が参加。晴天にも恵まれ、自然文化園が用意した双眼鏡を手に参加者全員が、参加者全員が、北の国からやってきたキンクロハジロやオオバンのほか、カイツブリ、カルガ

モなどの水鳥たちをじっくり観察することができました。

自然文化園の金原教育普及係長をはじめ水生生物園の3人の職員の方々から丁寧な説明を聞くことができ、参加者からは「鳥が大好きになるような話で、とても楽しかった」などと大好評でした。



イベント報告

第40回アート展 / 特別展示 田河水泡展

第40回アート展は、2月9日(土)・10日(日)に開催されました。9日は時折雪がちらつくあいにくの天候でしたが、両日で約600人の方が来場。個人やグループ、近隣の幼稚園・保育園児、中学校美術部などのアート作品を楽しみました。

今回の特別展示は『田河水泡展』を企画しました。「のらくろ」は、戦前の超人気漫画でした。作者の田河水泡は、1933年(34歳)～1960年(61歳)までを荻窪に居を構え、制作活動に励みました。2日目の2月10日は水泡生誕120年の誕生日で、当時の思い出話などを「のらくろ」の制作を継承した山根青鬼氏に熱く語っていただきました。(写真右上)



山根青鬼氏



荻窪地域区民センター玄関



「ミンククジラ」(神明中・美術部)



「絵手紙」と「さわられる絵本」



保育室荻窪第五の園児作品

# 講座・展示のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
パネル展示 「荻窪の記憶Ⅱ 天沼100年の歴史」	多彩な人々が居を構えた天沼がどのように生まれ発展してきたのか、100年の歩みをたどります。杉並区立郷土博物館分館に引き続き、当センター・ロビーで開催。	3月13日～5月6日 荻窪地域区民センターの 開館時間	—	無料	—
杉並区民と語る平成史	政治記者として激動の平成政治を取材し、著書に「平成政治史1～3巻」を持つ後藤謙次氏を講師に迎え、その体験を通じて平成の30年を振り返ってまいります。 後藤謙次(テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーター)	4月11日(木) 午後1時30分～3時	50名	200円	4月1日(月)
ロシア文学と「武蔵野」 —二葉亭、独歩、蘆花—	明治の文人・ジャーナリスト、二葉亭、独歩、蘆花がロシアのツルゲーネフ、トルストイから何を学び「武蔵野」を発見したのか。豊富な映像を交え、荻窪との由縁にも触れる。 杉山春子(明治大学講師)	5月18日・25日、6月1日 (各土曜日) 午後1時30分～3時	50名	200円	5月7日(火)
リズム&ストレッチ教室	音楽に合わせて全身を使って、ウォーキングやストレッチを行います。 後藤鈴香(健康運動指導士)	6月5日・12日・19日・26日 (各土曜日) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	5月19日(日)
初夏の ハンギングプランター作り	花苗の寄せ植え鉢を紐で編んだプラントハンガー(プランターを空間にぶら下げて飾る手法)で飾ります。 吉野華恵(一級造園施工管理技士・グリーンアドバイザー)	6月8日(土) 午後1時30分～3時30分	24名	1,700円 材料費込み	5月19日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ  
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

## 郷土博物館分館 区民参加型展示

問い合わせ: ☎5347-9801

### 西館1階展示室

## 杉六小の“博物館” ～学校と地域のたからもの～

みなさんは学校に“小さな博物館”があるのを知っていますか？  
区内の学校では昭和50年～平成5年にかけて、主に各校の周年記念事業の一環として「学校内歴史資料室」が設置されました。ここには、学校の卒業生や関係者、地域の人々が寄贈した大切な資料が収蔵されています。

本展では、区内に残る「学校内歴史資料室」の1つである杉並第六小学校の「杉六小資料館」の収蔵資料を博物館で展示します。学外で「学校内歴史資料室」の資料が公開される数少ない機会です。学校と地域が大切に保管してきた“たからもの”をご覧ください、それぞれの地域の歴史や文化に触れて、地域に愛着や関心を持っていただければ幸いです。

#### 【開催期間】

3月23日(土)～6月30日(日)

#### 【展示ガイド】

4月13日、5月11日、6月8日(各土曜日)

いずれも午後2時から

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館、4月29日(月)～5月6日(月)は開館、5月7日(火)・8日(水)は休館)
- 観 覧 料:無料

\*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。  
FAX番号:3398-9128

### 荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

#### 定期総会の 日程

5月10日(金) 午前10時～12時 第1・2集会室  
議題:①平成30年度事業決算報告  
②(2019年度)事業計画案と予算案  
③その他の事項

#### 委員会の 日程

4月30日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室  
5月28日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室  
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

### 退任のご挨拶

## 多くの方々に支えられて!

前会長 中澤一郎



4年間の協議会委員を振り返ってみますと、はじめは地域社会との関わりなど夢にも思いませんでした。思いつきで協議会委員になり、一企業で40年間つとめてきた者にとってそれまでの環境とはまったく違う方々との交流でした。一人ひとりがもつ力や知識に驚き、そして敬服しながら一緒に活動してきました。そこに新しい友人・知人関係ができたことは望外の喜びです。会長職の重責を気づかりましたが、地域の皆様のご支援とご協力をはじめ、協議会委員のみんなに支えられ無事に任期を全うすることが出来ました。「素晴らしい出会いと、素晴らしい活動」輝いていました。生涯忘れない、良い思い出をありがとうございました。

荻窪地域区民センター協議会での経験を生かし、これからも地域の中で少しでも役に立てていきたいと思っております。荻窪地域区民センター協議会のさらなる発展を祈っております。

### 発行物のお知らせ



荻窪の記憶  
A5判 80頁



40周年記念報  
パンフレット  
A4判 6頁



活動報告  
(隔年発行)  
A4判 20頁

※配布部数に限りがあります。必要な方は当協議会事務局にお申し出ください。